

外国人患者対応の現場から

～身近にいるのに遠く感じる外国人患者の声に触れてみよう～

講師：池浦 恵さん 薬剤師

開催日：2021年6月15日（火）午後7時～



池浦恵さんプロフィール

製薬企業にてMRを経験。その後調剤業務に従事。その一方で民間ボランティア団体役員として在留外国人の生活相談・医療相談に15年以上携わる。2012年自治体国際化協会より多文化共生マネージャー（タブマネ）の認定を受ける。国際交流協会所属のタブマネ等と協力し、医療通訳セミナー、外国人向け無料医療相談会、7か国語版こども救急ガイドブックの作成、外国人キーパーソン研修等、様々な分野の事業に関わる。

2017年、長年、在留外国人医療支援活動に従事してきた薬剤師達と共に外国人患者対応力向上委員会を立ち上げる。当委員会は、薬局における外国人患者対応に役立つ情報の発信や外国人患者対応を学ぶためのワークショップ開催等を行っている。外国人患者対応力向上委員会サイト：<https://cccips.com/>

講演概要

新型コロナで訪日外国人は減っているものの、もともと日本に居住している在留外国人も多くいる。町中で外国人を見かける機会もずいぶん増えた。にもかかわらず、彼らを取り巻く医療環境はこの10年であまり変化していない。約10年前の新型インフルのパンデミックの時と現在の新型コロナウイルス、同じ問題が今回も起きた。

こういった状況に対し、私が所属する外国人患者対応力向上委員会では様々な対応を行っている。ただし、全国の薬局で同様の対応ができていないわけではない。なぜそれができないのか、どうして躊躇してしまうのか。身近にいる存在なのに、いざ対応しようとするとなかなか存在へと変わってしまう。そのあたりを現場での実例をもとにみなさんと一緒に考えていきたい。

参加費：無料

申込先：info@jppac.or.jp お名前 所属 お立場を記入ください。URL お送りします。

主催



NPO法人
患者中心の医療を共に考え
共に実践する協議会

共催

一般社団法人 ピーベック PPHプロジェクト

医薬品産業イノベーション研究会

グリーンルーペ